

「ニート早期支援強化大切」

可児で県若者サポステ講演会

若者の職業的自立に向けた多彩なプログラムを無料で提供している県若者サポートステーション(サポステ)の講演会が十一日、可児市下恵土の市総合会館分室で開かれた。総括コーディネーターの平田幸恵さん(四三)が「若者就労支援の現場から」と題してニートを取り巻く現状を紹介した。(斉藤明彦)

十八日から同分室に開設するサポステ可児のプレイベント。平田さんは「県内では三万〜五万人のニートが存在するのではないかと指摘。高学歴で勤勉な性格の相談者が多い実態に触れ、コミュニケーション・失敗体験

平田さんが現状紹介

の不足が要因だった
り、いじめられて引きこもりになる事例を報告した。

ニートの三割が高校・大学の中退者だとする国の調査を基に「早期支援が大切。気持ちに寄り添い、よき理解者になる必要がある」と助言。出張相談や保護者勉強会、就労体験などサポステの事業を案内した。

サポステは県内では可児市が三カ所目で可茂・東濃地区の拠点。毎週水曜日の午前十時から午後五時まで相談に応じる。

問い合わせは、同ステーション〓電0558(216)0125〓へ。



ニートの若者を取り巻く環境を説明する平田幸恵さん(右から2人目)〓可児市総合会館分室で